



2022年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 ウルトラファブリティクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4235 URL <https://www.ultrafabricshd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 河辺 尊 TEL 042-644-6515
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	14,275	41.7	2,351	172.8	2,366	212.9	1,623	242.7	1,623	242.7	3,052	210.6
2021年12月期第3四半期	10,073	41.7	862	225.3	756	—	474	—	474	—	983	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	171.21	166.08
2021年12月期第3四半期	54.93	53.28

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	37,676	13,224	13,224	35.1
2021年12月期	31,382	12,079	12,079	38.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	34.00	34.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「（参考）種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,600	31.6	2,700	82.3	2,500	85.6	1,700	72.4	1,700	72.4	179.06

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	8,221,600株	2021年12月期	7,786,200株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	672,357株	2021年12月期	339,549株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	7,485,008株	2021年12月期3Q	6,585,519株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（参考）種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は、以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	—	—	30.00	30.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	37.00	37.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、前年から続く原油やその他原材料価格の上昇、サプライチェーンの混乱などがロシアのウクライナ侵攻によりさらに悪化して世界中で物価上昇を引き起こしたため、米国をはじめ各国がインフレ抑制に向けて金融引き締めスタンスに転じました。中国の7-9月期は、厳格なゼロコロナ政策による都市封鎖の影響を大きく受けた4-6月期からは持ち直しているものの、依然として新型コロナウイルス対応の移動制限が経済活動を妨げており、景気の下押し圧力となっています。米国では急速な利上げにより住宅消費の落ち込みが続き、個人消費も顕著に減速しており、景気後退が当社業績に与える影響が懸念されます。

このような状況下、自動車向けシート素材が大幅に伸長するとともに、輸送の混乱とインフレの逆風もある中で航空機用、家具用、レジャー用の伸びも著しく、第3四半期の売上は円安もあり前年同期比で大幅な伸びとなりました。原材料の高騰や輸送コストの上昇に加えて、クレーム対応費用、株式報酬費用、米国子会社における人件費等の増加があったものの、販売価格の一部改訂、生産量増加に伴う工場稼働の改善、為替差益等により、第3四半期の利益面においても前年同四半期を大幅に上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上収益142億75百万円（前年同四半期比41.7%増）、営業利益23億51百万円（前年同四半期比172.8%増）、税引前四半期利益23億66百万円（前年同四半期比212.9%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益16億23百万円（前年同四半期比242.7%増）となりました。

用途別の売上収益の概況は、次のとおりであります。

①家具用

長引くインフレと景気減速の影響を受けながらも、ヘルスケア向けとコントラクト家具はオフィス回帰の流れの中で堅調に推移し強い伸びを見せました。住宅向けや販売店向けは在庫不足と配送遅延の影響を受けたものの、家具向け全体の売上は前年同四半期を上回りました。

この結果、家具用の売上収益は39億75百万円（前年同四半期比33.7%増）となりました。

②自動車用

自動車向けシート素材のプログラムが好調だったことから、一部の小型部品用で多少の販売鈍化が見られたものの、自動車向け全体の売上は前年同四半期を大きく上回りました。

この結果、自動車用の売上収益は58億95百万円（前年同四半期比49.7%増）となりました。

③航空機用

民間航空機向けは、旅客需要は急回復しているものの、航空各社は内装の更新を来期に先延ばしすることが多くなり前年同期並みの水準に留まりました。一方、ビジネスジェット向けは、メーカー各社が世界的な配送遅延から部品入荷の長期化を懸念して在庫を積み増したことで急伸し、航空機向け全体の売上は前年同四半期を大きく上回りました。

この結果、航空機用の売上収益は11億円（前年同四半期比57.8%増）となりました。

④その他

前期も堅調であったRV、船舶等のレジャー関連向けのトレンドが一段と加速しました。小型トラックやバス向けも市況反転を実感できるものでした。アパレル向けは堅調な受注があり伸長しました。これらの分野が牽引しその他売上全体は前年同四半期を上回りました。

この結果、その他売上収益は33億5百万円（前年同四半期比34.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は376億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ62億93百万円増加いたしました。これは主に、売上高増加による売上債権及び棚卸資産が増加、為替相場が円安基調で推移した影響によりのれん及び無形資産が増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は244億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億49百万円増加いたしました。これは主に、運転資金及び自己株式取得資金調達により有利子負債が増加したことによるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は132億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億44百万円増加いたしました。これは主に剰余金の配当及び自己株式の取得による減少があったものの、四半期純利益の計上及びその他の資本の構成要素が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7億63百万円増加し42億83百万円となりました。これは主に税引前四半期利益の計上、減価償却費及び償却費の計上があったものの、棚卸資産及び営業債権及びその他の債権の増加、営業債務及びその他の債務の減少、借入金の増加及び自己株式の取得等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年8月12日に「2022年12月期第3四半期業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,520	4,283
営業債権及びその他の債権	2,278	3,580
その他の金融資産	263	414
棚卸資産	3,032	4,246
その他の流動資産	438	535
流動資産合計	9,531	13,057
非流動資産		
有形固定資産	4,749	4,738
使用権資産	1,015	1,072
のれん	8,222	10,352
無形資産	6,499	7,682
その他の金融資産	1,090	337
繰延税金資産	275	422
その他の非流動資産	0	15
非流動資産合計	21,851	24,618
資産合計	31,382	37,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
有利子負債	6,268	9,688
リース負債	162	197
営業債務及びその他の債務	1,607	1,691
その他の金融負債	202	217
未払法人所得税等	369	592
引当金	361	472
その他の流動負債	306	442
流動負債合計	9,277	13,300
非流動負債		
有利子負債	8,363	9,056
リース負債	876	902
退職給付に係る負債	231	247
引当金	18	18
繰延税金負債	423	807
その他の非流動負債	115	121
非流動負債合計	10,026	11,152
負債合計	19,303	24,452
資本		
資本金	2,189	2,265
資本剰余金	2,552	2,632
利益剰余金	7,560	8,919
自己株式	△182	△1,982
その他の資本の構成要素	△39	1,390
親会社の所有者に帰属する持分合計	12,079	13,224
資本合計	12,079	13,224
負債及び資本合計	31,382	37,676

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	10,073	14,275
売上原価	△5,771	△7,125
売上総利益	4,301	7,150
販売費及び一般管理費	△3,420	△4,788
その他の収益	2	9
その他の費用	△22	△19
営業利益	862	2,351
金融収益	164	478
金融費用	△270	△464
税引前四半期利益	756	2,366
法人所得税費用	△283	△743
四半期利益	474	1,623
四半期利益の帰属 親会社の所有者 四半期利益	474	1,623
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	54.93	171.21
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	53.28	166.08

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	3,686	5,322
売上原価	△2,052	△2,579
売上総利益	1,634	2,743
販売費及び一般管理費	△1,190	△1,633
その他の収益	0	1
その他の費用	△16	△4
営業利益	428	1,107
金融収益	30	33
金融費用	△78	△28
税引前四半期利益	380	1,112
法人所得税費用	△143	△390
四半期利益	237	722
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	237	722
四半期利益	237	722
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	27.29	76.37
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	26.53	73.30

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	474	1,623
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	119	403
在外営業活動体の換算差額	390	1,026
項目合計	509	1,429
その他の包括利益合計	509	1,429
四半期包括利益	983	3,052
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	983	3,052
四半期包括利益	983	3,052

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	237	722
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	25	118
在外営業活動体の換算差額	71	233
項目合計	96	351
その他の包括利益合計	96	351
四半期包括利益	333	1,073
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	333	1,073
四半期包括利益	333	1,073

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	資本合計
2021年1月1日残高	1,487	2,305	6,744	△221	△734	9,581	9,581
四半期利益	—	—	474	—	—	474	474
その他の包括利益	—	—	—	—	509	509	509
四半期包括利益合計	—	—	474	—	509	983	983
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	△0
ストック・オプションの行使	—	△5	—	40	—	35	35
剰余金の配当	—	—	△171	—	—	△171	△171
株式に基づく報酬取引	43	35	—	—	—	78	78
所有者との取引額等合計	43	30	△171	40	—	△59	△59
2021年9月30日残高	1,530	2,335	7,046	△182	△224	10,505	10,505

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	資本合計
2022年1月1日残高	2,189	2,552	7,560	△182	△39	12,079	12,079
四半期利益	—	—	1,623	—	—	1,623	1,623
その他の包括利益	—	—	—	—	1,429	1,429	1,429
四半期包括利益合計	—	—	1,623	—	1,429	3,052	3,052
自己株式の取得	—	—	—	△1,800	—	△1,800	△1,800
剰余金の配当	—	—	△264	—	—	△264	△264
株式に基づく報酬取引	77	80	—	—	—	157	157
所有者との取引額等合計	77	80	△264	△1,800	—	△1,908	△1,908
2022年9月30日残高	2,265	2,632	8,919	△1,982	1,390	13,224	13,224

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	756	2,366
減価償却費及び償却費	1,031	1,138
金融収益	△164	△478
金融費用	270	464
固定資産除売却損益 (△は益)	8	15
棚卸資産の増減額	△461	△509
営業債権及びその他の債権の増減額	△516	△656
営業債務及びその他の債務の増減額	353	△841
その他	288	△483
小計	1,565	1,015
利息の受取額	0	152
利息の支払額	△225	△275
法人所得税の支払額	△23	△537
法人所得税の還付額	121	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,438	355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△398	△506
無形資産の取得による支出	△97	△51
その他	△3	995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△499	439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△659	3,965
短期借入れによる収入	1,097	1,378
短期借入金の返済による支出	△341	△3,511
長期借入れによる収入	—	1,800
長期借入金の返済による支出	△1,086	△1,632
自己株式の取得による支出	△0	△1,800
配当金の支払額	△131	△264
リース負債の返済による支出	△123	△142
その他	35	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,208	△212
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	182
現金及び現金同等物の増減額	△169	763
現金及び現金同等物の期首残高	3,049	3,520
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,880	4,283

- （5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。